

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【農学生命科学研究科】

農学生命科学研究科（修士課程）では、時代の要請を先取りした先端的研究に挑戦する研究者の養成、並びに広範囲な技術を理解し、地域社会の発展に貢献する熟練した高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者の養成を目指します。

これらの観点から、学位授与の方針（ディプロマポリシー）を定めて、以下に該当する者に対して、「修士（農学生命科学）」の学位を授与します。

- ・専門科目で学んだ知識や技術を踏まえた研究手法を身に付けさせるとともに、研究者として「より深く」独創的な論理展開ができる能力を修得していること。
- ・専門科目で学んだ知識や技術を踏まえた課題解決能力を身に付けさせるとともに、高度専門職業人として持続可能な地域づくりを提言できる「より実践」的な能力を修得していること。

各コースにおいて（i）知識・理解、（ii）分野固有の能力、（iii）汎用的能力別に以下の内容を修得していることを求めます。

（生物学コース）

（i）知識・理解

・生物個体ならびに集団の多様な生命現象の解明に関わる研究・開発に必要な高度な知識および、それに基づく論理的思考

・自然環境の保護・保全に関わる研究・開発に必要な高度な知識および、それに基づく論理的思考

（ii）当該分野固有の能力

・生物個体ならびに集団の多様な生命現象のメカニズムの理解に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力

・自然環境の保護・保全に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力

・高度な科学英語を理解し、活用できる能力

（iii）汎用的能力

・研究・開発に関わる情報を収集する能力

・研究・開発チームの構成員として、他の構成員と協調しながら、自立的に行動できる能力

・研究成果に関してチーム内での討論に積極的に参加する意欲

・研究成果を学会で発表し、論文として公表できる能力

・社会における課題解決に関する研究・開発を自ら立案、実施し、結果を発表できる能力

（分子生命科学コース）

（i）知識・理解

・有機化学及び生化学に関する基礎的知識並びに生物の機能を分子レベルまで解明することのできる基礎的・専門的知識

（ii）当該分野固有の能力

・分子生物学、細胞生物学、天然物化学、酵素化学及び応用微生物学に関する基礎学力を身に付け、それらの分野に関わる研究開発において企画、実施及び評価する能力

（iii）汎用的能力

・新しい分野に果敢に挑戦し、成果を人類の福祉に役立てる課題探求能力と問題解決力を身に付け、活用する能力

（食料資源学コース）

（i）知識・理解

・植物育種に関わる研究・開発に必要な高度な知識

・食品の多様な機能や安全性に関わる研究・開発に必要な高度な知識

・作物の健全育成のための土壌環境に関わる研究・開発に必要な高度な知識、特に土壌化学および土壌微生物学の知識

・作物の健全育成のための植物病害虫管理に関わる研究・開発に必要な高度な知識、特に菌学、植物病原微生物学および昆虫生理学の知識

(ii) 当該分野固有の能力

- ・植物育種に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力
- ・食品の多様な機能や安全性に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力
- ・作物の健全育成のための土壌環境に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力
- ・作物の健全育成のための植物病害虫管理に関わる研究・開発を、自ら企画、実施および結果を評価できる能力

(iii) 汎用的能力

- ・研究・開発に関わる情報を収集することができる能力
- ・研究・開発チームの構成員として、他の構成員と協調しながら、自立的に行動できる能力
- ・研究成果に関してチーム内での討論において積極的に参加できる能力
- ・研究成果を学会で発表し、論文として公表するとともに、社会に対してわかり易く発信できる能力

(国際園芸農学コース)

(i) 知識・理解

- ・各専門分野の研究・開発に必要な高度な知識
- ・農業生産における諸問題の所在と解決にかかわる研究・開発に必要な高度な知識
- ・文化・社会・自然における食と農の機能に関する研究に必要な高度な知識

(ii) 当該分野固有の能力

- ・各種農業生産物生産の技術的特性と現代的課題に関わる研究・開発を自ら企画・実施および評価できる能力 (ア)
- ・農業生産の効率化に関わる研究・開発を自ら企画・実施および評価できる能力 (イ)
- ・農業生産技術の現場適用に関わる研究・開発を自ら企画・実施および評価できる能力 (ウ)
- ・農業をめぐる経営経済流通に関わる研究を自ら企画・実施及び評価できる能力 (エ)
- ・食と農をめぐる課題を自然科学と社会科学の視点から総合的に把握することに関わる研究・開発を自ら企画・実施および評価できる能力 (オ)
- ・ア～オまでの理解を基に、園芸農学分野に関する実際の・応用的な素質・能力を培い、課題解決のための方策に関わる研究・開発を自ら企画・実施および評価できる能力

(iii) 汎用的能力

- ・研究・開発に関する情報を収集できる能力
- ・研究・開発において協調性ととも自立的な行動ができる能力
- ・研究成果についての討論などに積極的に参加する意欲
- ・研究成果を学会発表や論文として公表できる能力

(地域環境工学コース)

(i) 知識・理解

- ・農業土木・農山村環境に関する専門的知識を体系的に理解する能力
- ・地域課題を総合的に理解する能力
- ・水・土・構造物・防災・環境についての専門知識

(ii) 当該分野固有の能力

- ・農山村や地域が抱える課題を科学的に分析する知識
- ・農業土木・地域・環境の理解を基礎とした課題解決のための計画立案に関する知識・計画実現のための技術・方策に関する専門的・総合的知識

(iii) 汎用的能力

- ・地域的課題を地域レベル・グローバルなレベル両面で捉える能力
- ・実践的課題への取り組みを通して理論を学ぶ姿勢
- ・自己管理能力、相手への配慮とコミュニケーション、社会的責任を理解し行動できる能力